

政策実現に向け、町長が方針を示す

施政方針

子どもや孫たちが希望を持てる未来に向け 持続と挑戦

日常生活や経済活動に大きな影響を与えている燃料や光熱費、食料品など直面している物価高騰への対策。新たな財源確保と事業の選択、新たなニーズを把握しスピード感ある政策実行を進めます。

一 町の持続的な発展を目指し課題解決に向け挑み続ける

本町におきましても、燃料や光熱費、食料品など直面する物価高騰により、日常生活や経済活動に大きな影響がでていいることから、一刻も早くこの事態を収束するべく、令和6年度も引き続き最優先、最重要課題として施策を進めていきます。

本町の基本理念「子や孫へ、希望あふれる未来を創りつなぐまち」の実現に向けて、令和2年度に全面改訂しました町の最上位計画であります「第2次錦江町総合振興計画」が、令和6年

度をもって最終年度となることから、今年度、この計画期間における各種事業の進捗状況や取組結果などを検証した上で、新たな第3次錦江町総合振興計画を策定し、町の持続的な発展を図っていきます。

厳しい財政状況下ではありませんが、町民の皆様の安心安全を守る施策に取り組み、また新たなニーズにも迅速に対応できる体制づくりと、町民の皆様の生活の質の向上に努めます。

絶えず事業の見直しを行い、課題に挑戦し続ける精神を忘れず、持続可能な財政運営に向けて取り組んでいきます。



令和6年第1回 錦江町議会定例会

2月26日の令和6年第1回錦江町議会定例会初日、「物価高騰対策を最優先、最重要課題とし、総合振興計画で掲げる10の基本計画に沿って基本理念の実現に向けた取り組みを進める」と施政方針を述べた新田敏郎町長。令和6年度当初予算など審議され予算総額107億2,374万円で新年度がスタートしました。



第2次錦江町総合振興計画 10の基本計画

施政方針 1 「想い」に共感し、つながるまちづくり

- ▼ 保育園留学や親子山村留学を実施し移住の促進や教育効果の向上
- ▼ ふるさと納税を活用し、町の魅力発信や関係人口の創出・拡大
- ▼ 外国人技能実習生が安心して生活できる環境を整備するためワークショップや日本語教室を実施

施政方針 2 子どもたちが夢にチャレンジできるまちづくり

- ▼ SDGsを中核に据え、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育む
- ▼ ICT機器の活用を進め、情報教育やモラル教育の充実を図る
- ▼ 幼少期からの外国語教育の充実を図るために英語教室等を実施
- ▼ 南大隅高校と連携し、町の一次産業を応援する動画や商品を製作

施政方針 3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

- ▼ データヘルス計画に基づく重症化予防に重点を置いた事業の展開
- ▼ 町制施行20周年を記念して劇場公演やコンサート等の事業を計画
- ▼ 健康増進と体力向上を図るためスポーツフェスティバルを開催
- ▼ あいのりタクシーの運用やおかけドライブ支援事業の実施により、交通弱者等の移動手段を確保

施政方針 4 未来を託す子どもを育成するまちづくり

- ▼ 脱炭素社会の実現に向けた環境教育として断熱改修ワークショップ、各世代に応じたキャリア教育としてお仕事・ハイキング等を実施
- ▼ 都市部との教育における地域格差解消に向けた公営塾の運営

施政方針 5 多様性を活かした農業によるまちづくり

- ▼ 地域農業の将来のあり方を定めた「地域計画」を策定
- ▼ 多様な労働力を活用できる手段確保のため農福連携の活用を検討
- ▼ 青刈りトウモロコシを用いた地域内畜産飼料生産化の実験・調査

施政方針 6 「支え合い」を実感できるまちづくり

- ▼ 「下履きヘルパー制度」等の地域ぐるみで支え合う仕組みづくり
- ▼ 乳児の1か月健診や5歳児健診等の切れ目ない子育て支援を実施
- ▼ 子育て世帯への経済的対策として、全年齢の保育料を無償化

施政方針 7 快適な生活環境のまちづくり

- ▼ 空き家対策として空き家バンクへの登録や補助金活用呼び掛け
- ▼ 木質バイオマス発電の安定稼働や持続可能な社会の構築を図る
- ▼ 子育て世帯の町内定住を図るため、子育て支援住宅の整備

施政方針 8 地域資源を活用した産業振興によるまちづくり

- ▼ 町の知名度等向上を図り、観光資源を磨き、リピート来訪を促進
- ▼ 商業、商店街の活性化に向けた利子補給や店舗改修事業の継続
- ▼ 町内資源の再構築や共創基盤の整備を図るため、ローカルベンチャー推進事業を引き続き実施

施政方針 9 地域の安全を守るまちづくり

- ▼ 大規模災害を想定した避難訓練の実施や児童生徒の防災学習強化
- ▼ 水利確保のため、地上式消火栓への改修や新たな防火水槽の設置
- ▼ 地域間での見守りに対する脆弱性軽減を図るため関係機関と連携

施政方針 10 情報共有による住民参加・対話のまちづくり

- ▼ 町ホームページ等を活用し、町民への情報伝達手段の強化を図る
- ▼ 各種会議の公開やまちづくり町民講座に積極的に取り組む

一般会計当初予算

3月議会最終本会議で令和6年度当初予算が可決

76億9,188万円

肝属郡医師会立病院の再整備事業に伴う本体工事が主な要因として、前年度比10億5,648万円の増となった令和6年度一般会計当初予算。持続可能なまちづくりに向けた予算を施政方針に沿ってお伝えします。

令和6年度

当初予算

令和6年度一般会計当初予算の概要と地方交付税の推移、行財政改革を進める錦江町の財政状況をお伝えします。

令和6年度の一般会計予算は前年度比約10億6千万円の増

令和6年度一般会計当初予算の総額は、76億9千188万円で、前年度に比べ10億5千648万円、15.9%増と、平成17年の合併以来、最大の予算規模となりました。

歳出面においては、本体工事の着工を予定する肝属郡医師会立病院再整備事業に加え、神川大滝公園らせん階段撤去や花瀬パンガロー連絡橋改修といった観光施設整備、田代開発センター解体工事など、新規事業の計上により普通建設費の割合は24.6%で、前年度に比べ13.7%増と大きく膨らんでいます。これらの投資的経費により、歳入に占める基金と地方債の割合は28.5%となりましたが、自主財源の根幹をなす町税は約6億円を見込んでおり、歳入全体に占める割合は1

割にも満たない状況で推移しています。

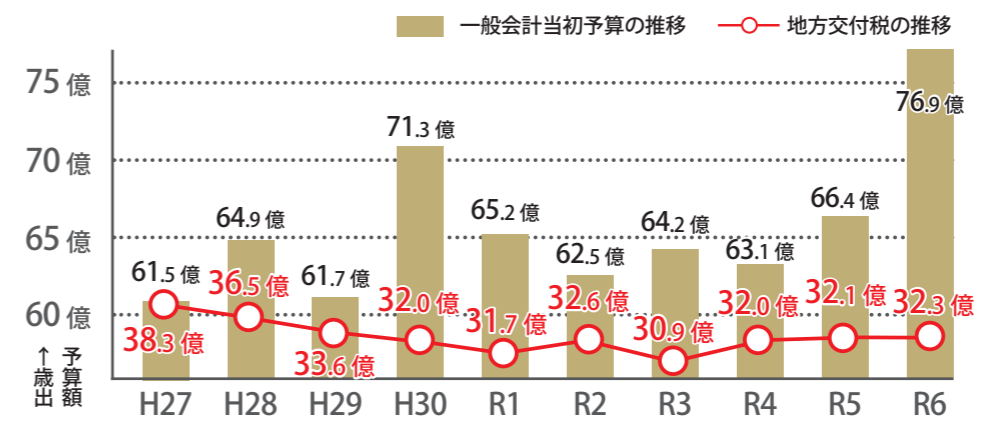
一方で、国から交付される地方交付税は歳入の約4割を占め、依存度の高い財政構造が続いています。合併による優遇措置終了後は減少を見込んでいましたが、新型コロナや物価高騰対策などの、特別な財政需要による算定項目の追加で、ここ数年は32億円前後で推移。今年度は、子ども子育て費や物価高への対応で追加される算定項目により、0.5%増の32億3千万円を計上しています。今後は、私たちの暮らしに欠かすことのできない地域医療の拠点となる病院再整備事業に加え、公共施設の更新や維持補修費に多額の費用も見込まれます。引き続き徹底した行財政改革に取り組みつつ、長期的な視点から将来を見据えた事業の選択と見直しにより、財政健全化に向けた取り組みを進めていきます。

Point 1

財源の4割を依存する 国からの地方交付税

地方交付税は合併による優遇措置、段階的に減少する合併算定替激変緩和期間も終了。自治体規模相応の交付となるため今後は減少する見込みですが、子ども子育て費や物価高への対応など普通交付税の算定項目が追加されることから令和6年度は0.5%増の約32.3億円と分析しています。

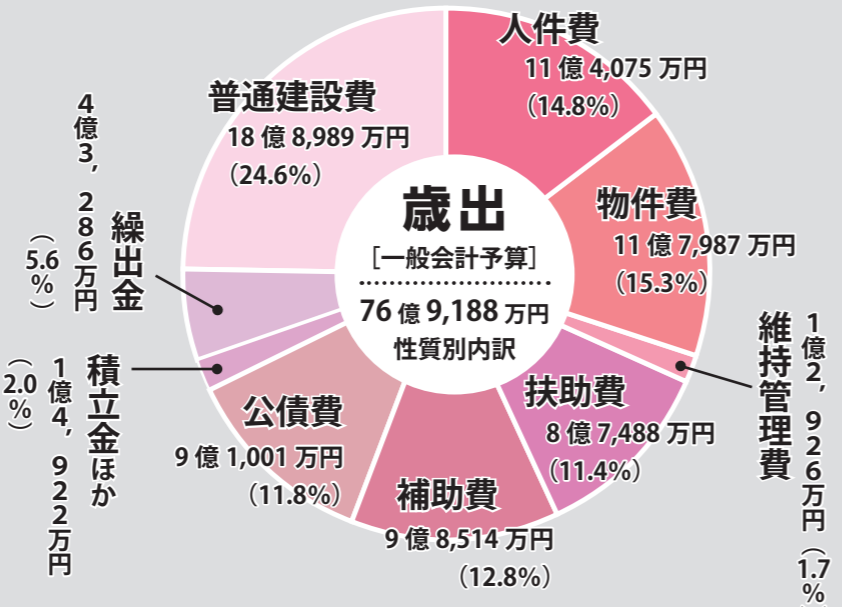
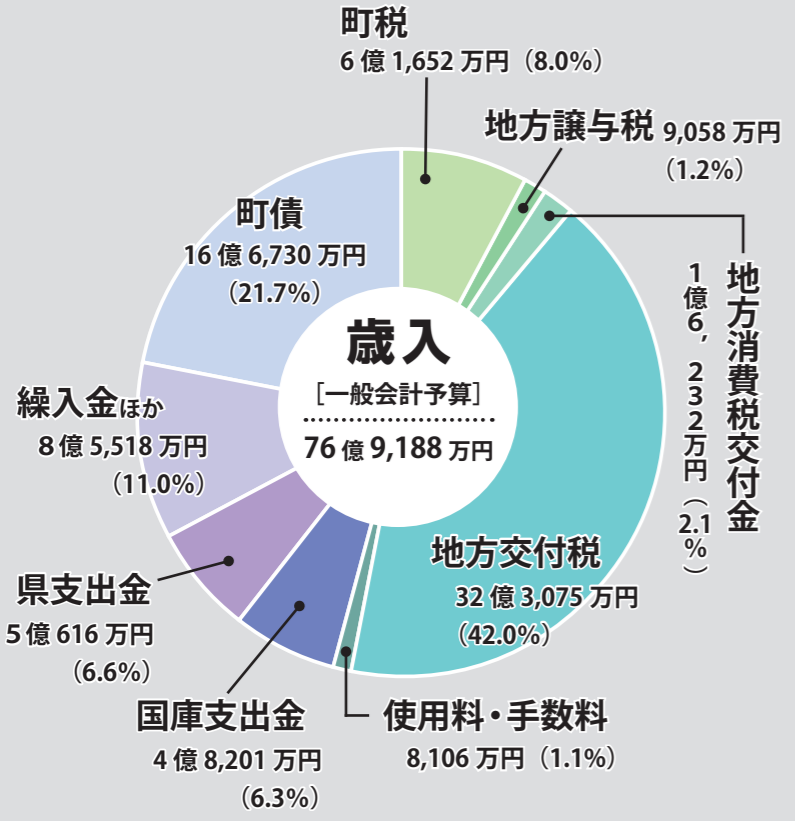
一般会計予算額と地方交付税の推移 平成27年～令和6年(10年間)



歳入 一般会計

自主財源である町税は6億1,652万円で歳入全体に占める割合のわずか8.0%。地方交付税は32億3,075万円、国庫支出金4億8,201万円、県支出金5億616万円となり、不足する財源は基金を取り崩して財源に充てています。歳入の4割を占める地方交付税には物価高への対応費等の一時的なものも含まれており、安定財源確保に予断を許さない状況です。

令和6年度一般会計予算 [歳入]



一般会計 歳出

歳出は前年度と比べ10億5,648万円の増額となりました。肝属郡医師会立病院の再整備事業に伴う本体工事が主な要因です。性質別では普通建設費が最も多く18億8,989万円、物件費が11億7,987万円と続きます。経常経費削減や事業見直しを図りながら行財政のさらなる効率化を進めていきます。

令和6年度一般会計予算 [歳出] (性質別)

特別会計を含む令和6年度予算総額は107億2,374万円

一般会計	76億9,188万円
特別会計 (6事業)	
国民健康保険事業	13億3,647万円
後期高齢者医療事業特別会計	1億5,101万円
介護保険事業 (保険事業勘定) 特別会計	12億4,125万円
介護保険事業 (サービス事業勘定) 特別会計	769万円
水道事業特別会計	1億9,600万円
農業集落排水事業特別会計	9,944万円
令和6年度の予算総額	107億2,374万円

Point 2

令和6年度の分かりやすい予算書 6月に自治会使送で全戸配布

令和6年度の各会計予算総額は107億2,374万円で前年度にくらべ10億5,698万円の増額となりました。予算書を分かりやすくまとめた冊子を全戸に配布しますのでぜひご覧ください。



▲令和6年度の「分かりやすい予算書」は6月の自治会使送便で全戸配布を予定しています

人事異動

鹿児島県から派遣され、政策企画課で3年間勤務された内木場博之病院再整備対策監が鹿児島県病院局へ異動、後任として鹿児島県土木部から畠中成久さんが着任。また、大隅地域振興局農林水産部から蔵満祐樹さんが建設課に技術補佐として着任。



内木場 博之
鹿児島県へ



畠中 成久
鹿児島県より派遣



蔵満 祐樹
鹿児島県より派遣

新規採用職員

一般枠、社会人枠を含めた7名の新規採用職員が各課に配属され4月からそれぞれの業務がスタートしました。自己紹介と決意もあわせて錦江町の新戦力ををご紹介します！



やなぎはら・ゆか
柳原 由佳 (26)

この度は魅力溢れる錦江町で働かせていただけること大変光栄に感じております。至らない点も多いと思いますが、町民の皆さまに貢献できるよう精進して参ります。これからよろしくお願いいたします。

総務課 総務チーム (大崎町)



しょうき・れんたろう
笑喜 蓮太郎 (20)

この度、大好きな錦江町で働くことができ、とても感謝しています。まだまだ分からない事だらけですが、一日でも早く仕事を覚え、何事も一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。

住民税務課 税務チーム (錦江町)



おおはら・くみこ
大原 久美子 (41) 未来づくり課 未来づくりチーム (鹿児島市)

自然豊かな錦江町で働くことを嬉しく感じ、チャレンジすること、学ぶこと、町民の皆様へ寄り添える職員となれるよう、今までの経験も活かし、頑張ります。よろしくお願いいたします。



あがたはま・みほ
阿漕濱 美羽 (18) 住民税務課 住民チーム (錦江町)

生まれ故郷である錦江町で、豊かな自然や温かい人々に囲まれて仕事ができることが、本当に嬉しいです。分からないことばかりですが、町民の皆様へ少しでも貢献できるよう、頑張ります。よろしくお願いいたします。



やの・まさたか
矢野 剛教 (36) 介護福祉課 福祉チーム (鹿屋市)

3月まで会計年度任用職員として介護福祉課に勤務しておりました。これまでの福祉の知識と経験を活かし町民の皆様へ少しでも貢献できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



ながた・そうき
永田 颯樹 (24) 健康保険課 健康増進チーム (熊本県)

私は、錦江町の自然体験ツアーに中学生の時参加し、錦江町で働きたいと考えこの度職員となりました。これからも錦江町を楽しみながら働いていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



たなか・たかし
田中 貴士 (35) 建設課 建設チーム (鹿屋市)

大自然に囲まれながら働くことを大変うれしく、感謝しております。分からないことが沢山ありますが、日々の時間を大切に、信頼される職員になれるように精一杯頑張ります。宜しくお願い致します。



新たな戦力を加えた108名の町職員で令和6年度がスタート 錦江町職員新体制

新たな戦力も加えた新体制で、将来に夢と希望が持てる「まちづくり」実現に向けて全力で取り組む職員を紹介します。

右肩下がりの人口減少・少子高齢化時代に錦江町も合併時から下げ止まりが見えず、鹿児島県が2月に発表した現在の推計人口によると、錦江町の人口は、6183人となっております。人口減とともに社会も大きく変化。錦江町においても職員数の適正化を図りつつ多様化する住民ニーズに対応できる人員配置と個々のスキルアップ、合理的なシステムを構築しながら行政サービス向上を進めています。

4月1日付で人事異動を行い新たに7名の新戦力も加えた錦江町の新職員体制。日々大量のデータが飛び交う情報化時代においても、その情報を使い制度を作る、そして実際に町を動かすためには「一人」の力が欠かせません。私たち職員一人ひとりが町のビジョンを描き、「夢と希望が持てるまちづくり」に向けて全力で取り組みます。

退職者

令和6年3月31日付で7名の錦江町職員が退職しました。



鳥越 幸一
退職



荒木 義文
退職



落司 毅
退職



中垣 優作
退職



濱田 久美子
退職



押領司 浩二
退職



永吉 和幸
退職

教育委員会 教育長 畑中 清和

課等	課長等	課長補佐等	チーム名	チームリーダー	チーム員
教育課	白井 寿子	松澤 亮二 (参事兼指導主事)	教育総務	〔白井 寿子〕	邊志切 祐希 川前 亮 萩原 修平
					▼以下学校給食センター
					柿迫 佐由美 牧 奈津美 柳田 里美
					馬込 さつき 有村 みゆき 新村あけみ〔再〕
					▼以下小中学校
生涯学習	竹井 真知子	田代 眞介 前野 真隆 内倉 將太郎			

議 会						
議長	笹原 政夫					
副議長	落司 道子					
事務局	菅蒲 洋二			〔福園 正夫〕	杉木 鈴奈	

監査委員						
代表監査委員	中村 貢					
監査委員(議会)	厚ヶ瀬 博文					
事務局	〔菅蒲 洋二〕			福園 正夫	〔杉木 鈴奈〕	

農業委員会						
会長	安水 純一					
事務局	坂口 美智代			永田 宗成	〔中野 好太郎〕	折久木まり子〔再〕

選挙管理委員会						
委員長	渡瀬 博夫					
事務局	〔坪内 裕二郎〕	〔川路 昭典〕(次長)			〔黒瀬 慎吾〕	

鹿児島県(派遣職員)						
高齢者生き生き推進課	小川 剛	(総務課付)	農村振興課	小原 慎吾	(総務課付)	

大隅肝属広域事務組合(派遣職員)		
事務局	樗木 勇利	(総務課付)

錦江町役場 電話番号一覧表

課名等	チーム名等	直通番号	備考	課名等	チーム名等	直通番号	備考
総務課	総務	代表電話 ☎ 22-0511	本庁2階	社会福祉協議会 ☎ 22-2000			
	選挙管理委員会	☎ 22-3040		福祉	☎ 22-3042	本庁1階 国道側	
	議会・監査事務局	☎ 22-3045	本庁3階	介護福祉課	介護		☎ 22-3043
				健康保険課	包括支援センター		☎ 22-3030
保険(国保)					☎ 22-3041		
健康保険課	保険(衛生)	☎ 22-3044					
政策企画課	政策企画	☎ 22-3032	本庁2階	住民税務課	税務	☎ 22-3037	
				住民	☎ 22-3039		
産業振興課	経済	☎ 22-3034	本庁1階	教育課	教育総務	☎ 22-0517	
					生涯学習		
					文化センター		
建設課	水道	☎ 22-3033	本庁1階 東側	観光交流課	観光交流	☎ 28-2488	
				住民生活課	民生	☎ 25-2511	
建設課	住宅	産業建設課	経済建設	☎ 25-1001			
			未来づくり課		未来づくり	旧神川中学校跡	

町長部局

町長	新田 敏郎
副町長	有村 智明

職員配置図

本庁 〒893-2392 肝属郡錦江町城元963/ ☎0994-22-0511/FAX0994-22-1951

課等	課長等	参事・課長補佐等	チーム名	チームリーダー	チーム員		
総務課	坪内 裕二郎		総務	〔坪内 裕二郎〕	小川 弘晃 (総務担当)	柳原 由佳	立切 美愛
					今村 学	松元 美菜代	
					黒瀬 慎吾	田尻 健太	平石 誠
未来づくり課	中島 裕二		未来づくり	久保 伸一	大原 久美子		
政策企画課	高崎 満広	畠中 成久 (病院再整備対策監)	政策企画	馬庭 司	山下 知幸	坪内 なな子	小鷹 彩奈
					長濱 幸治	福島 敬晃	
住民税務課	猪鹿倉 勝志		税務	山王 洋介	徳永 雅信	桑原 直也	古川 公規
					笑喜 蓮太郎	今熊武朗〔再〕	
			住民	磯元 隆宏	山本 昭八	原田 理穂	阿湯濱 美羽
介護福祉課	笹貫 新一郎		福祉	濱田 竜大	神川 工樹	鍋田 美和	田中 光
					矢野 剛教		
			介護	舞原 千昭	畠中 裕文	金川 美穂	本村 貴浩
			社会福祉協議会	川越正治(事務局長)			
健康保険課	宮園 守		健康増進	永濱 あけみ	中村 奈々	切通 淑美	永田 颯樹
					保険	池水 国博	上吹越 智子
産業振興課	池之上 和隆		経済	水流 賢一	時吉 健二	祝 大介	榎田 朔
					生産振興	〔坂口 美智代〕	〔永田 宗成〕
建設課	船迫 修一	〔船迫 修一〕 (大隅縦貫道対策室長)	建設	馬場 満博	袖山 仁志	迫 尚樹	田中 貴士
					蔵満 祐樹 (技術補佐)	住宅水道	篠原 稔
会計管理者	藤崎 みずえ						
会計課	〔藤崎 みずえ〕		会計		壺崎 浩二	山元 大志	

田代支所 〒893-2492 肝属郡錦江町田代麓827-1/ ☎0994-25-2511/FAX0994-25-2668

課等	課長等	課長補佐等	チーム名	チームリーダー	チーム員
支所長	川路 昭典				
観光交流課	木下 勝幸		観光交流	宿利原 伸一	伊藤 優輝 益口 礼華 平石 美優
住民生活課	〔川路 昭典〕		民生	〔川路 昭典〕	原澤 政徳 鶴田 明 牧原 弘弥
				税務地籍	大浦地 毅
産業建設課	上吹越 寿次		経済建設	鳥井ヶ原 宣義	中野 好太郎 時吉 良美 上大園 樹
					舞原利博〔再〕